



HYOGO

地域創生

コラボレーション

プロジェクト

地域と人をつなぐ「縁」の創出  
—五国の未来につながる出会いを—



オンライン説明会 4月19日(日) 13:00~14:00

# 本日の目的

- ① 昨年度の同プロジェクトを踏まえ、  
今年度の『地域創生コラボレーションプロジェクト』の  
「目的」と「参加メリット」をご理解いただくこと
- ② 昨年度の同イベントを踏まえ、  
今年度の『ひょうご地域創生フェス2026（カケルDAY）』への  
出展を検討・決定いただくこと

# 本日の内容・スケジュール

## 1. 概要のご説明 【13:00～13:15】

- a. 兵庫県の地域創生の取組について
- b. 「地域創生コラボレーションプロジェクト」について
- c. 「ひょうご地域創生フェス2026」に出展をいただける方へのお願い

## 2. 今年度のプロジェクト詳細と「地域創生フェス」について 【13:15～13:30】

- a. 昨年度に取り組んで見えてきたこと
- b. 今年度のねらいと「地域創生フェス」の位置づけ

## 3. 補助事業について 【13:30～13:40】

## 4. 質疑応答 【13:40～13:55】

## 5. まとめ 【13:55～14:00】

# 1. 概要のご説明

# a. 兵庫県地域創生の取組について

第3期兵庫県地域創生戦略 令和7年度～11年度

基本  
理念

五国の多様性を活かし、一人ひとりが望む働き方や質の高い暮らしが実現できる地域へ  
～地域や人をつなぐ「縁」を生み出し、共創の取組を五国に拡げる～

3つの柱

『自分らしく生きられる社会の創出』

(方向性1～3)

『五国に拡がる可能性の追求』

(方向性4～6)

『暮らしの持続性の確保』

(方向性7～8)

8つの  
方向性

1 多様な学びや  
働き方が叶う  
社会を創る

2 居場所と  
役割を創る

3 寛容性を  
拡げる

4 ひとの動き  
を生み出す

5 地域の  
固有性を  
磨く

6 経済活力を  
創出する

7 人・自然・文化  
を次代に  
つなぐ

8 安心して暮ら  
し続けられる  
地域を創る

様々な  
展開  
方法

## 戦略推進プロジェクト

地域創生に向けた重要な取組をプロジェクトとして設定

- ①若者・Z世代応援 -望む学びや働き方が叶う環境づくり-
- ②ひとりじゃない -社会的な孤立・孤独を防ぐ取組の強化-
- ③外国人「第二のふるさと」 -外国人が安心して暮らし働ける地域づくり-
- ④五国の“ナリワイ”育み -地域の稼ぐ力と雇用力を高める取組-
- ⑤ひょうご五国豊穡 -「農」を核とした農山漁村の活性化-
- ⑥五国のご縁（五縁） -地域や人をつなぎ、新たな価値を創出-

## 各地域における取組方針

五国の多様性を活かすため地域独自の取組を戦略に位置づけ

- 各県民局・県民センターにおける地域の「課題・強み等」や人口動態を踏まえつつ、「目指す姿」を地域ごとに設定し、その実現に向けた「主な取組方針」を規定
- それぞれの地域ごとに「指標・目標」を設定し、取組方針の推進状況を評価・分析

五国のご縁（五縁）プロジェクトの核となる取組

それが…“地域創生コラボレーションプロジェクト”

▷2015年3月に全国に先駆けて  
**兵庫県地域創生条例** を制定

▷同年10月  
**兵庫県地域創生戦略**（第一期）  
を策定

第一期、第二期では「人口対策」  
を中心とした取組

▷2025年3月  
**兵庫県地域創生戦略**（第三期）  
を策定

人口が減少しても地域活力を維持  
県民が将来への希望を持てる地域  
の実現

そのために…

**地域や人をつなぐ「縁」を生  
み出し、共創の取組を県内各  
地に拡げる**

## b. 「地域創生コラボレーションプロジェクト」について

### 地域創生コラボレーションプロジェクトとは…

地域づくりに関心のある県民や企業、団体、市町などが、地域を越えてつながり、交流しながら、新たな価値を創出していけるよう、県内各地で生まれた地域創生の好事例を五国全体へ広げていくプロジェクト

### 具体的には…

既に地域創生に関する事業を行っている個人や団体がさらに活躍するために、

**自分の強みとニーズを可視化して他者とマッチング（コラボレーション）すること**

で県全体で地域創生の取り組みを強化する



## c. 「ひょうご地域創生フェス2026」に出展をいただける方へのお願い

ひょうご地域創生フェス2026「カケルDAY」の出展者

= 「地域創生コラボレーションプロジェクト」の参加者

プロジェクトへを通じて、

「地域をよくしたい」という思いを持つ多様な主体の方々がつながり、

新たな連携や価値が生まれることで、地域活力あふれる地域の実現

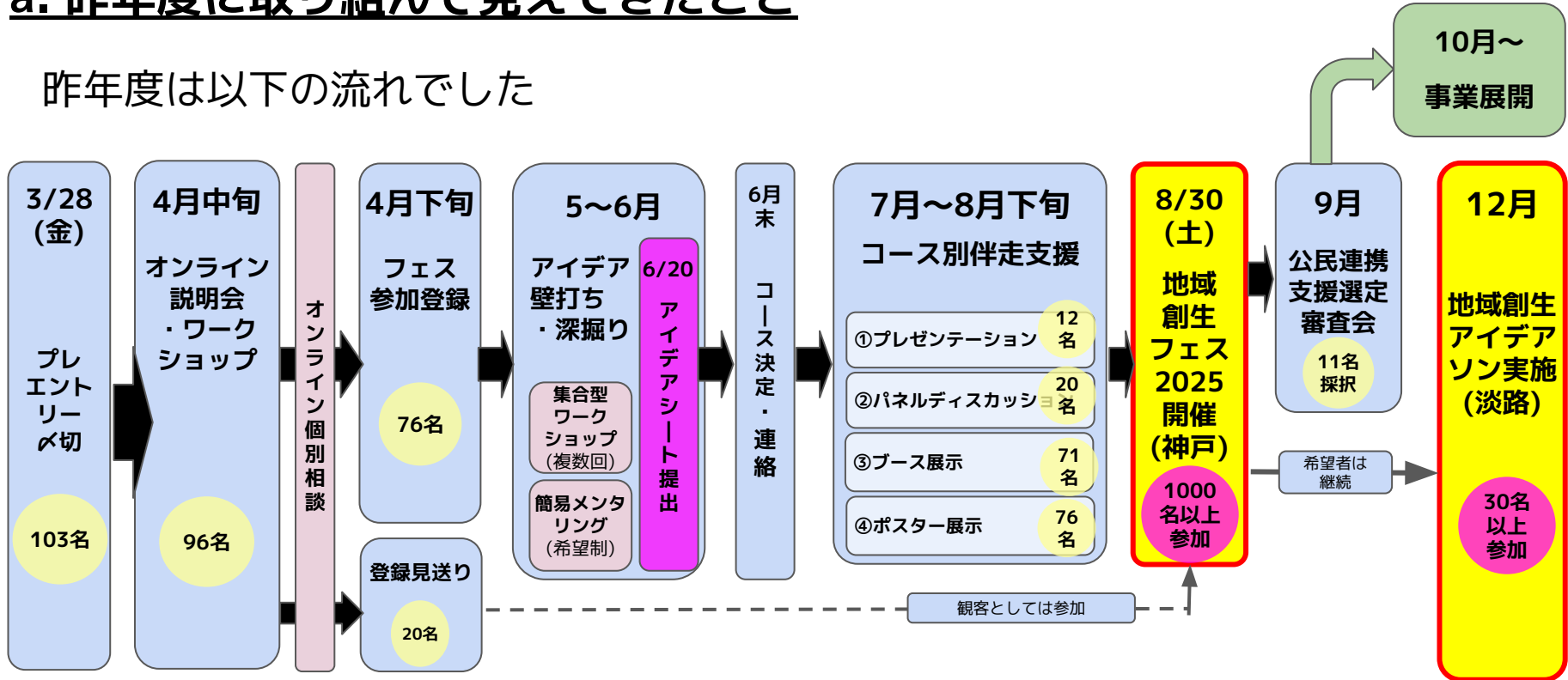
に皆様と共に取り組んでいきたい



## 2. 今年度のプロジェクト詳細と 「地域創生フェス」について

# a. 昨年度に取り組んで見えてきたこと

昨年度は以下の流れでした



10月~  
事業展開

## a. 昨年度に取り組んで見えてきたこと

< 昨年度の良かった点 >

- ・ 兵庫県下に「地域創生に対する熱い思いを持つ方」が数多くおられることが分かった  
(103名もエントリーいただけただけなのは想定以上だった)
- ・ 「地域創生フェス」を自分ごととして捉え、共に創り上げていただくことができた

< 昨年度の課題（改善すべき点） >

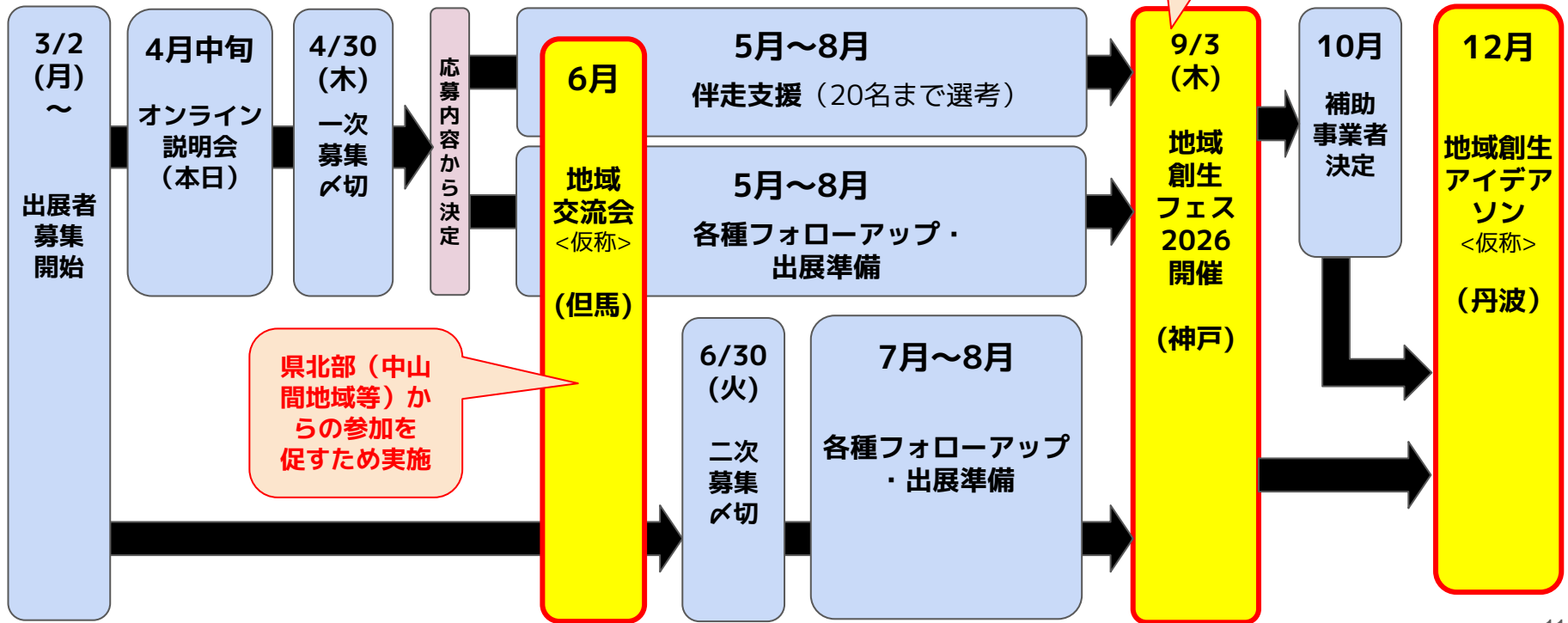
- ・ 「地域創生フェス」に参加された方々同士で、各々が持っており提供できる「強み」と、「ニーズ」（足りない部分）のマッチングが出来た件数は多くなかった

今年度の  
大きな目的

アイデア止まりではなく、実際に行動されている方々に参加いただき、  
「強み」と「ニーズ」を可視化することで  
マッチング（コラボレーション）が数多く起こるプロジェクトにしていく

## b. 今年度のねらいと「地域創生フェス」の位置づけ

昨年度を踏まえ、今年度は以下の流れで進めます



## b. 今年度のねらいと「地域創生フェス」の位置づけ

### <今年度のねらい>

既に地域創生事業を行っている人・団体がもっと活躍するために、強みとニーズを可視化（＝伴走支援・フォローアップ等）して、それらをマッチング（コラボレーション）する場を用意することで兵庫県全体で地域創生の取り組みを強化する

**「出展」**  
地方創生コラボレーションプロジェクトの集約点「地域創生フェス」へのブース出展等

### <地域創生フェスの位置づけ>

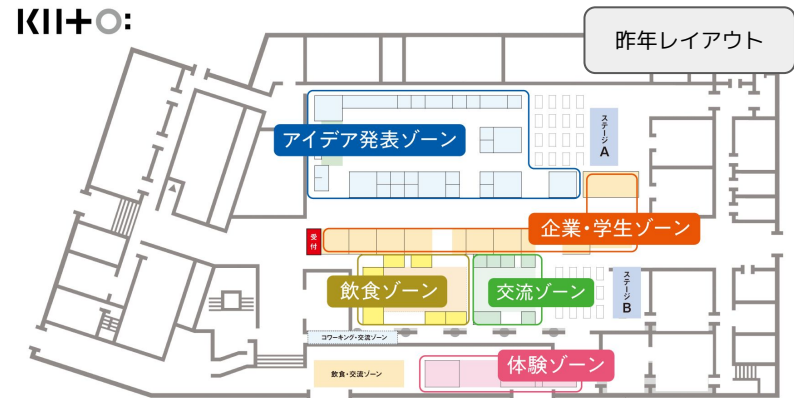
年間を通じて進める「地域創生コラボレーションプロジェクト」の一大集約点であり、**出展者それぞれの「強み」と「ニーズ」を可視化してマッチング（コラボレーション）する機会**（発表して終わりではなく、そこから具体的なアクションが前に進む場として設計）

#### プロジェクトへの参加メリット

＝自らの地域創生の取組の強みとニーズを可視化することで**具体的に一歩前に進めることができる**（コラボが進む）

## b. 今年度のねらいと「地域創生フェス」の位置づけ

- 【日時】 2026年9月3日(木) 10:00~17:00(予定) ※前夜祭も予定
- 【場所】 デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)
- 【目的】 県民、事業者、団体、市町、学生など、地域創生に取り組む各主体が地域を越えて交流できる場を創出する
- 【出展者】 地域創生に関心のある企業・団体、個人、学校、行政、学生  
(70団体程度)
- 【来場者】 1,000人程度を想定
- 【内容】
- ・ ステージ (1箇所)
  - ・ 出展ブース (70ブース程度)
  - ・ 交流ゾーン (打合せ机10セット程度)
  - ・ 行政・起業相談ブース (打合せ机5セット程度)
  - ・ 飲食ブース (10店舗程度)



## 2. 今年度のプロジェクト詳細と「地域創生フェス」について



# 3. 補助事業について

## 地域創生コラボレーションプロジェクト補助事業

地域課題の解決や地域創生に資する先導的。波及的取組の実現化に必要な経費の一部を補助することで、事業展開を促進し、地域の活性化につなげる。

### 事業概要 ※今後変更の可能性あり

補助対象者	<u>「カケルDAY」の出展者</u> のうち、補助事業選定審査会において採決された個人・団体・企業 ※県による「伴走支援」の有無は関係ありません
対象事業・期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域資源（ヒト・モノ・情報 等）を活用した先駆的な取組で対象エリアは兵庫県</li> <li>・ 第三期兵庫県地域創生戦略の8つの方向性に関連した取組</li> <li>・ 応募時点で「具体的な連携先が想定できている」「事業目標に定量的な成果目標を設定」していること</li> <li>・ <u>同じ内容で自治体等から補助を受けている場合等は対象外</u></li> <li>・ 交付決定日から令和9年3月13日（実績報告の〆切）</li> </ul>
募集期間	令和8年7月中旬～8月中旬（予定）
審査方法	書面審査及びプレゼン審査（予定）
補助率・額	補助対象経費の2分の1以内、1申請者あたり上限50万円 ※補助対象経費例：賃金、旅費、消耗品費、委託料 等

# 4. 質疑応答

## これまでに寄せられたご質問に対する回答

大きく4種類のご質問：①プロジェクト、②補助事業、③伴走支援、④学生枠

### ①「プロジェクト」について

Q1. 昨年度も参加させていただいたが、新たな知り合いに声をかけても良いか？

：事業趣旨等にご賛同いただけるのであれば、もちろん歓迎いたします。ブースの出展を希望される場合は、期間内に応募手続きをお願いします。

Q2. 今年は「地域創生フェス」が平日開催で高校生が参加しにくくなるがフォローいただけるか？

：ご相談いただければ、可能な範囲で県としてもフォローさせていただきます。

# これまでに寄せられたご質問に対する回答

大きく4種類のご質問：①プロジェクト、②補助事業、③伴走支援、④学生枠

## ②「補助事業」について

**Q1. 兵庫県下の市町としての事業は補助対象外か？**

：地域創生フェスに出展いただくことは可能ですが、補助事業は対象外です。

**Q2. 補助事業の条件として、他の団体とのコラボが必要とのことだが、どの程度必要か？**

：コラボの明確な基準は設けませんが、単なる名前だけでなく、どのようなコラボ（連携）を行い、どのような結果（成果目標）を達成したいのかを具体的にしたうえで申請をお願いします。

**Q3. 今年度の補助事業における重点分野や方向性はあるのか？**

：昨年度同様、補助事業の目的は「第三期兵庫県地域創生戦略」の8つの方向性に関連していることを要件としております。なお、重点分野の設定は行っておりません。

**Q4. 今年度の補助事業採択予定件数は何件くらいか？ また、昨年度の採択者は公開されているか？**

：昨年度と同様、10件程度を想定しています。また、昨年度の採択者は県HPにて公開しております。  
(県HP) 令和7年度地域創生コラボレーションプロジェクト実績

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/r7korabozisseki.html>

## これまでに寄せられたご質問に対する回答

大きく4種類のご質問：①プロジェクト、②補助事業、③伴走支援、④学生枠

### ③「伴走支援」について

#### Q1. 昨年度の伴走支援とどう違うのか？

：昨年度は「地域創生アイデア」をお持ちの方を対象に、そのアイデアを言語化し、具体化するお手伝いをさせていただきましたが、今年度は既に地域創生アイデアを具体化し、事業として進め（ようとし）ている方が対象です。その事業・事業者としての「強み」と「ニーズ」を可視化し、他の事業者や行政・企業などとの具体的なマッチング（コラボレーション）が進むようにサポートさせていただきます。

#### Q2. IT関連のサポートもいただけるのか？

：昨年もZoomでのやり取りや共有ファイルの編集等に苦戦された方がいるのは事実ですが、IT関連のサポートは伴走支援の内容には含みません。得意な方を皆様の周りで見つけていただくと幸いです。

## これまでに寄せられたご質問に対する回答

大きく4種類のご質問：①プロジェクト、②補助事業、③伴走支援、④学生枠

### ④「学生枠」について

**Q1. 今回「学生枠」を設定いただいたが、学生がフェス会場に来るための交通費補助はあるのか？**

：現時点で交通費補助は想定しておりません。ただ、一般枠（事業者）と学生枠では目的が異なりますので、内部で検討させていただきます。

**Q2. 「学生」とは大学生のことか？高校生も含むのか？**

：「学生」には大学生だけでなく、中学生や高校生なども含みます。  
(昨年も高校生の参加は実績としてあり、大変ありがたく思っております)

# 5. まとめ

# 4/30までにお願いたしいこと

「ひょうご地域創生コラボレーションプロジェクト」ホームページより出展申込をお願いいたします。

兵庫県  
Hyogo Prefecture

ニュース プロジェクト レポート カケルDAY お問い合わせ

## 「地域創生フェス2026『カケルDAY』出展募集について

**募集内容**

「第三期地域創生戦略」の推進および地域課題の解決につながる、兵庫県を対象エリアとする取組についてのブース出展を募集します。

**エントリーはこちら**

**応募方法**

具体的には以下の「8つの方向性」のいずれかに資する取組であることを求めます。

<第三期地域創生戦略（2025～2029）の「8つの方向性」>

- 1 多様な学びや働き方が叶う社会を創る
- 2 居場所と役割を創る
- 3 寛容性を拡げる
- 4 ひとの動きを生み出す
- 5 地域の固有性を磨く
- 6 経済活力を創出する
- 7 人・自然・文化を次代につなぐ
- 8 安心して暮らし続けられる地域を創る

### ひょうご地域創生フェス2026「カケルDAY」出展応募フォーム

このフォームを送信する際に、お客様が、ご自身のお名前やメールアドレスなどの詳細情報を入力しない限り、その情報が自動的に取得されることはありません。

\* 必須

1. 出展を希望する団体名をご記入ください。\*  
※個人の方はお名前をご記入ください。  
回答を入力してください
2. ひょうご地域創生フェスへの出展は何回目ですか？\*  
 初めて  
 2回目（ひょうご地域創生フェス2025に出展した）
3. 希望する出展区分をお選びください。\*  
 一般枠【県による伴走支援なし】  
 一般枠【県による伴走支援あり】  
 学生枠

5月以降の段取りについては別途事務局よりご連絡をさせていただきます。

**以上、よろしくお願ひいたします！**